

自動車整備をサポートする「点検結果音声入力システム」を大幅にリニューアルし、新機能を追加



ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、ダイハツ販売会社向けに提供している「点検結果音声入力システム」をリニューアルし、新名称「DAVIS」として2026年5月より各販売会社にて導入を開始しました。

近年、整備士の人材不足と自動車技術の高度化に伴う整備業務の複雑化への対応が喫緊の課題となっています。ダイハツは整備士の作業の標準化とシステム化により、作業の安全性と整備品質の向上、法令遵守体制の強化に加え、業務の平準化や未経験者などの多様な整備人材への対応を図るべく、「点検結果音声システム」の開発に取り組んできました。本システムは、車両の点検・整備時に、点検項目を音声でアナウンスするとともに、整備士の音声を認識し、点検結果が自動で入力されるシステムで、2018年以降、全国38販売会社で導入され、導入販売会社における全点検業務の約30%で活用されています。

<今回のリニューアルのポイント>

- ・これまでの「安心6か月点検」「法定12か月点検」に加え、作業項目数が多く手順や判定が複雑な「24か月点検（車検）」にも対応することで、品質向上と整備士の作業負担を軽減
- ・販売会社の顧客・車両管理の基幹システムと連携することで、見積書内容が自動的に反映
- ・今後は、電子車検証からのデータ取り込みも可能とするなど、更なる入力作業の効率化を推進
- ・名称を「DAVIS（DAIHATSU Voice Inspection System）」として刷新

今後もダイハツは、お客様の生活を豊かにするモビリティ社会を目指し、自動車整備現場における効率化と品質向上に取り組んでまいります。

以上